

福島第一原発事故から5年、事故被害はまったく終わっていません。避難区域の解除や住宅支援の打ち切りなどの帰還促進が進む一方、被ばく低減や健康管理政策は進まず、被災者をめぐる厳しい状況が続いています。

2016年は同時に、チェルノブイリ原発事故から30年の節目でもあります。チェルノブイリでは今も、健康影響に苦しむ人々がいます。3月11日、福島とチェルノブイリの現状を共有し、「今必要なこと」を考えます。

2016年3月11日(金)
14:00-17:00

参議院議員会館講堂

最寄り駅：東京メトロ 永田町駅(徒歩1分)、国会議事堂駅(徒歩5分)

311
シンポジウム
福島
を忘れない

～福島第一原発事故から5年、
チェルノブイリ原発事故から30年～

第一部 福島

基調講演

福島原発事故から5年

… 長谷川健一さん (飯舘村・元酪農家)



長谷川健一さん

避難者はいま

… 宇野朗子さん

(「避難の権利」を求める全国避難者の会)

福島の母親たちが直面していること



宇野朗子さん

第二部 チェルノブイリ

保養から見えてくること

… 佐々木真理さん (チェルノブイリ子ども基金)

日本とチェルノブイリの比較 … 吉田由布子さん

(「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク)

ベラルーシでみた「希望」と「かけはし」

… 深草亜悠美 (FoE Japan)

ドイツからの報告 … フーベルト・ヴァイガーさん

(FoE ドイツ代表)

第三部 今、必要なこと

テーマ：帰還政策・健康影響・保養・電力自由化・脱原発と核不拡散

…FoE Japan 満田夏花、吉田明子、矢野恵理子

コメント：メアリー・オルソンさん (生物学者 米国・原子力情報サービス (NIRS) 所属)、川崎哲さん (ピースボート)、スティーヴン・リーパーさん (平和活動家)

資料代 500円

(FoE Japan サポーター、学生は無料)

申込み

FoE Japan ウェブサイトからお申し込みください。もしくは、E-mail またはファックスにて件名を「3・11シンポジウム」とし、①ご氏名、②ご所属、③ご連絡先—をご送付ください。 E-mail : info@foejapan.org Fax : 03-6909-5986

主催

国際環境 NGO FoE Japan (認定NPO法人)

〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9

Tel : 03-6909-5983

Fax : 03-6909-5986

担当：吉田

 FoE Japan

協力

eシフト (脱原発とエネルギーシフトを実現する会)、チェルノブイリ子ども基金、ピースボート、「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク、「避難の権利」を求める全国避難者の会、原発事故被害者団体連絡会、さようなら原発 1000 万人アクション 実行委員会